

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

独学でものの見方の幅を広げ自分のスキルを高める 柳川範之 (東京大学大学院経済学科研究科教授)

1. 独学の良い所は、自分の空いている時間に、自分のペースで勉強できるということです。勉強とは本来、個人のペースで進めるものです。では、何を学ばばいいのでしょうか。一つ目は、キャリアの幅を広げるために、自分の仕事の周辺領域を学ぶこと。もう少し具体的に言うと、普段会社で自分と組んでいる人の仕事について学ぶということです。営業職なら、いつも経費処理をしてくれる経理の仕事を選んでみる。
2. 二つ目は、自分の仕事をスキルとして一般化するために学ぶこと。長年同じ会社で働いた人が転職する場合に一番ネックとなるのが、自分の仕事一般化できていないということです。身に付けたスキルがその会社では通用しても別の会社では通用しない。そこで必要になるのがスキルの一般化です。自分がやってきた仕事を、経済学や経営学、社会学などを使って整理して理論付け、体系化する。
3. 三つ目は、ものの見方を広げるために、人文科学系の学問を学ぶこと。40代、50代の人にとっては重要なテーマだと思います。例えば、哲学や倫理学は、直接的には全く役に立たないように思えます。20代の人にはぴんとこないでしょう。でも、社会人として20年、30年やってきた40代、50代なら自身の人生経験と結び付けて哲学の中身を理解することができるはずです。仕事において即戦力にはならないかもしれませんが、哲学や倫理学などの教養を身に付けることは、ものの見方の幅を広げ、人生についての理解を深め、結果的に自分のスキルを高めることにつながるのです。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2017年10月7日号)

経営者のための理念・哲学

ビジネスは正しく勝つ

古森重隆 (富士フィルムホールディングス会長・CEO)

1. 人間をはじめ生物は皆、何らかの争いや競争をしながら生き続け成長している。生きることは戦うことだと言っている。その戦いに勝ち、生き続けなければならない。しかし人間は、知性や倫理、優れた価値観を持つ特別な存在であり、誇りや尊厳にかけたふさわしい戦い方が要求されている。暴力や嘘、トリックではなく、国家や企業は自身が持つ正しい価値をもとにオープン (開かれた)、フェア (公正)、クリア (透明) に正しい手段で戦うことが要求されている。
2. ビジネスで「正しく勝つ」というのは、自社の製品が採用されるだけではなく、それがお客様にとってより価値があるかが重要である。正しいことをおすすめてフェアに戦って勝ち、世の中の為になる。お客様が正しい選択をして、「あなたもよかったですよ」となる。

(参考:「日経ビジネス」:2017年9月25日号)

人事・労務について

今いる会社で長く働く

1. 大和証券独自の制度で、実績のあるベテラン営業員を対象に、原則転勤なしで自分の希望する支店で仕事を続けられるというものだ。2006年の制度導入当初、雇用延長は65歳までだったが、2013年に70歳まで引き上げられ、今年6月には上限年齢が撤廃 (定年制廃止) された。大和証券がシニアスタッフの活用に力を入れる理由の1つが、社内の活性化だ。若手社員にとって、ベテラン営業員は、生きた教材。社員に気づきの機会を与えることになる。
2. もう1つの理由が、高齢客との親和性だ。大和証券の主要顧客は60~70代の高齢者。彼らにとっては、若手よりも自分と年齢の近いシニア営業員と話したほうが安心だ。特に、相続など大きな課題には、同じ世代だからこそ打ち明けられる悩みでもある。

(参考:「週刊東洋経済」2017年9月30日号)

古典に学ぶ

人間は天命に従って行動せねばならない

(解説) 草木には草木の天命あり、鳥獣には鳥獣の天命がある。この天命がすなわち天の配剤となって顕われ、同じ人間のうちに、酒を売るものがあつたり、餅を売つたりする者があつたりするのである。これ皆天命の然らしむところで人力のいかんともすべからざるところである。人間は天命にしたがつて行動せねばならぬものであることがすこぶる明らかになる。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)